

2020年5月12日

各位

会社名：株式会社 J B イレブン
代表者名：代表取締役社長 新美 司
(コード番号：3066 名証第二部)
問合せ先：執行役員 黒田 博司
電話番号：052-629-1100

特別損失の発生および通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、本日開催の取締役会において、下記の通り特別損失を計上するとともに、2020年3月19日に公表しました2020年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値の差異について、お知らせします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 減損損失

2020年3月期決算において「固定資産の減損会計に係る会計基準」に基づき将来の投資回収が見込めない店舗等の資産価値を減じたことによる減損損失を第4四半期に、43百万円計上します。
なお、通期の減損損失は97百万円となります。

(2) 関係会社株式評価損

当社の連結子会社の株式について、実質価格が著しく低下したため、関係会社株式評価損を単体決算で77百万円計上します。

なお、当該評価損については、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 2020年3月期通期連結業績予想と実績との差異

(1) 通期連結業績予想と実績との差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期 純利益
前回発表予想 (A) (2020年3月19日)	百万円 7,440	百万円 12	百万円 11	百万円 △92	円 銭 △12.45
実績 (B)	7,436	51	58	△83	△11.31
増減額 (B-A)	△4	39	47	9	—
増減率 (%)	△0.1	430.0	536.0	—	—
(ご参考) 前期実績 2019年3月期 (連結)	7,272	120	143	36	5.21

(2) 修正の理由

売上高の実績は、概ね修正予想値と同じになりました。営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純損失は、原価、人件費、水道光熱費、固定地代家賃等の削減効果があり、前回発表予想より改善しました。

以上